

取組と目標に対する自己評価シート
 高齢者の自立支援、介護予防又は重度化防止に関する取組と目標

保険者名

山田町

年度

令和5年度

前期（中間見直し）

実施内容

- ・ アクション90（第2層）開催数：11回
- ・ 孫世代のための認知症講座（延人）：1回、参加者数 93人
- ・ 認知症サポーター養成講座（延人）：1回、参加者数 9人
- ・ 介護家族リフレッシュ教室（延人）：5回、参加者数 31人（うち14人ボランティア）

自己評価結果【○】

概ね計画通りに実施できている。

- ・ 生活支援体制整備事業においてアクション90（第2層）を11回実施し、地域に必要な助け合いについての話し合いや、事業の進捗報告などを行った。
- ・ 孫世代のための認知症講座は小学校1校、中学校1校で実施。
- ・ 介護家族リフレッシュ教室では、介護者が固定化している傾向はあるが、認知症サポーターがボランティアとして参加しており、介護者の交流の機会になっている。認知症カフェとしても位置付けているが、認知症の方の参加はない。

課題と対応策

事業によっては参加者の固定化や地域ごとの進捗に差が出ている状況である。事業の周知は広く行うほか、必要そうな方へ直接声をかけるなど、柔軟に対応していく。また、地域ごとに進めている事業について、ニーズや課題を整理していく。

後期（実績評価）

実施内容

- ・ アクション90（第2層）開催数：15回
- ・ アクション90（第1層）開催数：1回
- ・ 孫世代のための認知症講座（延人）：3回、参加者数 168人
- ・ 介護家族リフレッシュ教室（延人）：12回、参加者数 71人（うちボランティア32人）

自己評価結果【○】

概ね計画通りに実施できた。

- ・ 生活支援体制整備事業においてアクション90（第2層）を各地区で実施し、第1層協議体は1回開催した。今年度は「買い物について」を共通テーマとし、ニーズ調査や各地区での話し合いを行った。
- ・ 孫世代のための認知症講座は小学校2校、中学校1校で実施。中学校では福祉施設体験学習の事前学習として取り入れてもらい、実際の場面のロールプレイも実施した。
- ・ 介護家族リフレッシュ教室では、介護者が固定化している傾向はあるが、認知症サポーターがボランティアとして参加しており、介護者の交流の機会になっている。認知症カフェとしても位置付けているが、認知症の方の参加はない。

課題と対応策

- ・ 生活支援体制整備事業では、各地区での取り組みを進めるとともに、地区共通テーマとした「買い物について」から、今後の買い物支援について検討していく。
- ・ 認知症サポーター養成講座、介護リフレッシュ教室等は感染対策を取りながら今後も実施する。

取組と目標に対する自己評価シート
高齢者の自立支援、介護予防又は重度化防止に関する取組と目標

保険者名

山田町

年度 令和5年度

前期（中間見直し）

実施内容

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| ・通所型サービスA 実73人、延381人 | ・介護予防地区自主活動団体数 16団体 |
| ・訪問型サービスC 実5人、延10人 | ・介護予防ボランティア活動者数 実80人 |
| ・通所型介護予防教室 実16人、延74人 | ・地域リハビリテーション活動支援 13団体 |

自己評価結果【○】

新型コロナウイルス感染症が2類から5類へ移行したが、感染対策に留意し、概ね計画通りに実施している。

課題と対応策

新型コロナウイルス感染症が5類移行後も、感染対策について健康教育を実施し、住民主体の通いの場等に対し継続支援を行っていく。

後期（実績評価）

実施内容

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| ・通所型サービスA 実74人、延758人 | ・介護予防地区自主活動団体数 16団体 |
| ・訪問型サービスC 実5人、延11人 | ・介護予防ボランティア活動者数 実80人 |
| ・通所型介護予防教室 実31人、延161人 | ・地域リハビリテーション活動支援 24団体 |

自己評価結果【○】

感染対策に留意し、概ね計画通りに実施している。

課題と対応策

通いの場は41団体と年々増加しており、今後も身近な場所で社会参加、介護予防に取り組めるよう、介護予防ボランティアや生活支援コーディネーターと連携を図りながら、継続支援に努めていく。また、通いの場の増加に伴い、その支え手である介護予防ボランティアの育成や意欲的に活動を継続できるよう取り組んでいく。

介護給付適正化の推進に関する取組と目標

保険者名	山田町
------	-----

年度	令和5年度
----	-------

前期（中間見直し）

実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ①要介護認定の適正化 <ul style="list-style-type: none"> ・認定調査内容の点検を継続実施 ②ケアプランの点検 <ul style="list-style-type: none"> ・点検を実施中 ③住宅改修・福祉用具購入・貸与調査 <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの点検を継続実施 ④介護給付費通知 <ul style="list-style-type: none"> ・前期に通知を1回実施 ・後期にも通知を1回実施予定であり目標値の達成を図る ⑤縦覧点検・医療情報との突合 <ul style="list-style-type: none"> ・点検を継続実施
自己評価結果【○】
概ね計画通り実施できている。
課題と対応策
計画に沿って取り組めており、本取組に基づきより適正な介護保険事業の運用となるよう今後も努める。

後期（実績評価）

実施内容
<p>令和5年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ①要介護認定の適正化 <ul style="list-style-type: none"> ・認定調査内容の点検 実施率100%（目標100%） ②ケアプランの点検 <ul style="list-style-type: none"> ・実施率0.48% 実施件数30件／受給者延べ数6,243件（目標0.73%） ③住宅改修・福祉用具購入・貸与調査 <ul style="list-style-type: none"> ・住宅改修工事前後施工状況確認15.4% 現地確認実施4件／申請総数26件（目標11.7%） ・福祉用具購入調査実施率100%（目標100%） ・福祉用具貸与調査実施率1.9% 実施件数75件／給付延べ件数3,928件（目標2.0%） ④介護給付費通知 <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数2回 前・後期各1回（目標2回） ⑤縦覧点検・医療情報との突合 <ul style="list-style-type: none"> ・実施率100%（目標100%）
自己評価結果【○】
概ね目標を達成できた。
課題と対応策
ケアプラン点検が令和4年度に引き続き目標を下回った。令和6年度は、設定している目標値を意識しながら点検すると共に、悉皆点検をしているものはそのまま維持し、適正な介護保険事業の運用に努める。